

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

Laid-open Utility Model Application S56-60730

Utility Model Application

September 29, 1979

5

[Approved]

Director-General of the JPO: Mr. Takeo KAWAHARA

1. Title of the Invention: Adhesive plaster

10

2. Inventor: Name: Hiroo, SATOU
Address: 6-3-14 Koyama,
Fujiiderashi, Osaka-fu

15

3. Applicant: Name: Nichiban K.K. (402)
Address: 2-2-4 Kudanminami,
Chiyoda-ku, Tokyo-to
Representative: Koichi OOTSUKA

20

Specification

1. Title of the Invention: Adhesive plaster

2. Claims:

25

1. An adhesive plaster, wherein
drug-containing adhesive agent layers are formed in
stripes with gap portions present therebetween, on a
surface of a substrate, continuous notches being
provided in edge portions of the adhesive plaster.

30

2. The adhesive plaster according to claim 1,
wherein extremely thin layers of drug-containing
adhesive agent are present in the gap portions.

35

3. The adhesive plaster according to claim 1,
wherein drug-containing adhesive agent is not present
in the gap portions.

40

4. The adhesive plaster according to any of
claims 1 to 3, wherein notches are provided in edge
portions on which drug-containing adhesive agent
layers are not present or are only fractionally
present.

5. The adhesive plaster according to any of
claims 1 to 3, wherein notches are provided in edge
portions on which drug-containing adhesive agent
layers are present.

Laid-open No.



(4,000円)

Utility Model Application

実用新案登録願

昭和56年9月29日

特許庁長官 川原能雄 殿

1. 考案の名称 ヘ貼り グスリ 薬

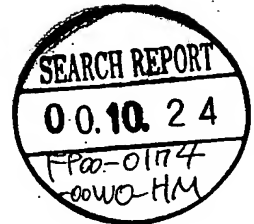
2. 考案者
住所 大阪府 フジイデラシ 藤井寺市 コヤマ 小山 六丁目3番ノ4号
氏名 サトウ 佐藤 ヒロオ 弘男

3. 実用新案登録出願人
住所 東京都 千代田区 九段南 二丁目2番4号
402 氏名 ニチバン株式会社
代表者 大塚 光一

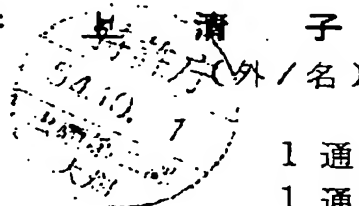
4. 代理人
住所 東京都中央区銀座七丁目14番3号
松慶ビルディング
4235 氏名 辨理士 井 上 清 子

5. 添付書類の目録

(1)	明細書	1	通
(2)	図面	1	通
(3)	願書副本	1	通
(4)	委任状	1	通
(5)	出願審査請求書	1	通



電話(541)1776(代)
4572



54 133016

60730

明 細 書

1. 考案の名称 貼り薬

2. 実用新案登録請求の範囲

1 基材の面に薬剤含有粘着剤層を相互間に間隔部を存して縞状に形成しその縁部に連続的な切欠を設けた貼り薬。

2 間隔部に薬剤含有粘着剤の極薄層が存する実用新案登録請求の範囲第1項に記載の貼り薬。

3 間隔部に薬剤含有粘着剤が存在しない実用新案登録請求の範囲第1項に記載の貼り薬。

4 薬剤含有粘着剤層が存在しないか僅かしか存在しない縁部に切欠を設けた実用新案登録請求の範囲第1項乃至第3項のいずれかに記載の貼り薬。

5 薬剤含有粘着剤層が存在する縁部に切欠を設けた実用新案登録請求の範囲第1項乃至第3項のいずれかに記載の貼り薬。

3. 考案の詳細な説明

本案は温感型、冷感型等の貼り薬に関する。

従来貼り薬は消炎鎮痛剤その他の薬剤を含有する粘着剤を布帛等の基材の面に設けて形成されているが、これを患部に貼着した場合、貼着部分の皮膚は毛孔が塞さがれ且つ貼り薬自体の通気性が悪いため、かぶれ易い。この欠点は布帛等の通気性を有する基材面に適当な間隔を存して薬剤含有粘着剤層を設けて解消しようとしているが、布帛を基材とするものは手切性に乏しく、患部に応じて適当な大きさに切る場合には、鋏等要し、簡易に使用できない等の欠点がある。

本案は布帛等の基材の面に薬剤含有粘着剤層を縞状に形成すると共にその縁部に連続的な適宜形状の切欠を設けたもので、かぶれ等の皮膚障害がなく、手で切ることができ、剥脱の場合ははぎとりも容易なものを提供しようとするものである。

以下実施例について説明すると、アセテート繊維その他の繊維で構成された各種の布帛等の基材(1)の面にサリチル酸メチル、カンフル、チモール

その他の消炎鎮痛等の作用のある薬剤、唐辛その他の皮膚刺激等の作用のある薬剤等の所要量を含むする粘着剤層(2)が縦縞、横縞、斜縞、各種の格子縞等のような縞状に形成されており、この縞状に形成された薬剤含有粘着剤層(2)、(2)間の間隔部(3)には、該薬剤含有粘着剤層と同じ若しくは異なる成分の極薄層を設けたもの、または前記極薄層を設けないものがある。上記極薄層と縞状に形成される薬剤含有粘着剤層(2)とを形成する薬剤含有粘着剤の塗布量は適宜に選択できるが、例えば、後者の約 $160 \sim 230 \text{ g/m}^2$ に対し前者を約 $8 \sim 22 \text{ g/m}^2$ にして好ましい場合が多い。上記基材は必要に応じて予めウレタンコーティングその他のコーティングを施す場合がある。

薬剤含有粘着剤層(2)を所定に設けた基材の少くとも一方の縁部に例えば鋸歯状等のような連続的な切欠(4)が設けられており、この切欠の大きさは適宜でよいが、例えば縁部に 1 cm 当約 $5 \sim 10$ 個程度の切欠を連続的に形成してよい場合が多い。切欠は縁部の全長にわたり連続しないものもあり

得る。切欠は縁部に薬剤含有粘着剤層が存在する場合にはこれを含んで形成されてもよく、又該縁部に薬剤含有粘着剤層が存在しないか、あるいは薬剤含有粘着剤成分の極薄層が存在する場合（即ち、縁部に間隔部が存在する場合）にはそれぞれその部分に形成されてもよい。従つて両側縁部に設ける場合、前記切欠は両側共に薬剤含有粘着剤層のある部分に、若しくは両側共に薬剤含有粘着剤層が存在しない部分に、若しくは両側共に薬剤含有粘着剤成分の極薄層の部分に、若しくは一方側は薬剤含有粘着剤層のある部分に他方側は薬剤含有粘着剤層が存在しないか、その極薄層が存在する部分に形成できる。又この切欠は基材の生地 に薬剤含有粘着剤層を所定に形成した後、これを製品の貼り薬に応じて所定幅に裁断するさい同時に形成することもできる。上記の如く切欠を間隔部に形成したものは、これに薬剤含有粘着剤成分の極薄層を形成したもののでもロール状に巻回した場合その縁部で重合する切欠は少くとも強く粘着していないから、切欠を把持して容易に巻戻しが

できるばかりでなく、巻戻したものを指先で切断するさい指先が汚れたり、薬剤含有粘着剤層が潰されたりせず使用できる。第ノ、3、5及び7図には縦縞状に、第8図には横縞状に、第9図には斜縞状に、第10図には格子縞状にそれぞれ上記薬剤含有粘着剤層を設けたものが示され、その第ノ図及び第5図には前記薬剤含有粘着剤層間の間隔部(3)に前記粘着剤層と同成分の極薄層を形成したものが示されている。又、切欠は第ノ図では両縁部共間隔部に該当して形成されたもの、第3図では一方の縁部は間隔部に該当すると共に他方の縁部は薬剤含有粘着剤層を含んで形成されたもの、第5図では両縁部共薬剤含有粘着剤層を含んで形成されたものが示されている。

本案は上述の如く、縁部に連続した切欠が設けてあるので、切欠の底が切断端となつて手先で容易にその所望長に切取つて患部に貼着することができ、又患部に貼着後に貼薬を剝脱するさいには切欠の突端から容易に剝取り得た。又薬剤含有粘着剤層が基材面に縞状に設けられているので、患

部に貼着した場合、皮膚に直接接する面が少く粘着剤の強すぎ、成分の感作、皮膚の呼吸の阻害等によるかぶれ等が防止できる。又薬剤含有粘着剤層間の間隔部に同成分の極薄層を設けたものは該極薄層は直接患部には接しないが該極薄層とこれに隣接する薬剤含有粘着剤層から揮発した薬剤成分が極薄層と皮膚との間の間隙に充滿し間隔部に当る皮膚に作用し全面に薬剤含有粘着剤層を有するものと同様の薬効を長時間持続できる。又薬剤含有粘着剤層が縞状形成され接着面が少いので、ロール状に巻回したものの巻戻しや患部に貼着したものの剝取り等も極めて容易なものである。

× 図面の簡単な説明

図面は本案の実施例を示し、第1図は斜断面図、第2図は第1図のⅡ—Ⅱ線断面図、第3図は変形例を示す一部の平面図、第4図は第3図のⅣ—Ⅳ線断面図、第5図は他の変形例を示す一部の平面図、第6図は第5図のⅥ—Ⅵ線断面図、第7図～第10図はそれぞれ上記以外の変形例を示す一部の平面図である。

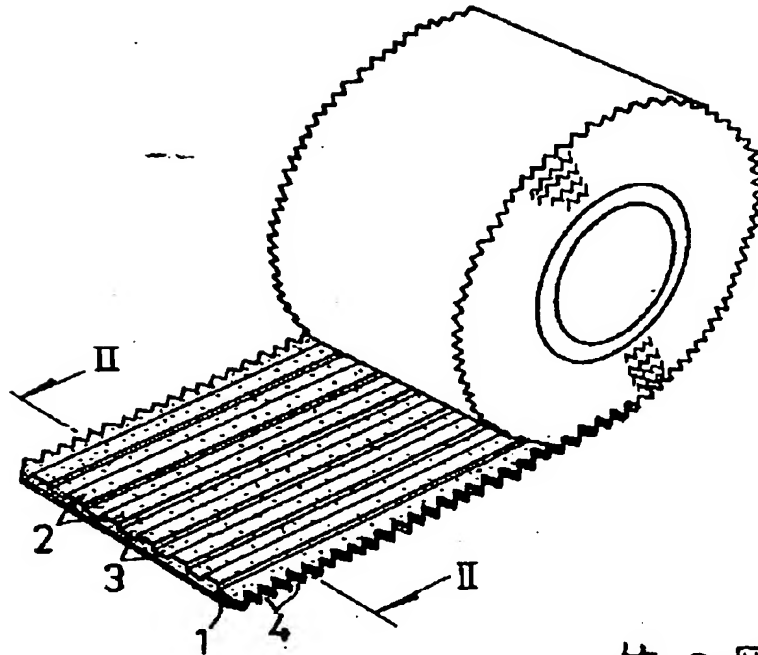
(1)は基材、(2)は薬剤含有粘着剤層、(8)は間隔部、
(4)は切欠である。

実用新案登録出願人 ニチバン株式会社

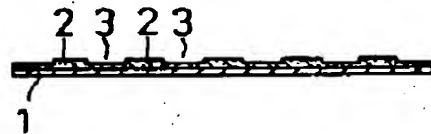
代理人 辨理士 井 上 清 子

代理人 辨理士 亀 川 義 示

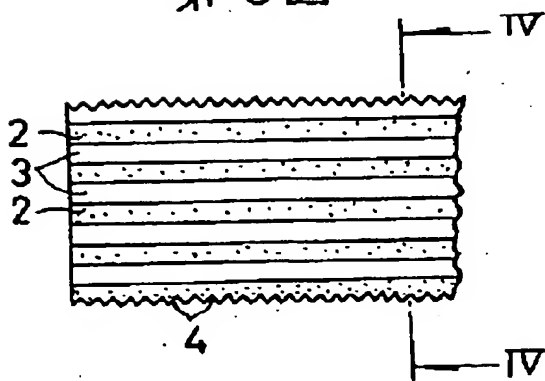
第1図



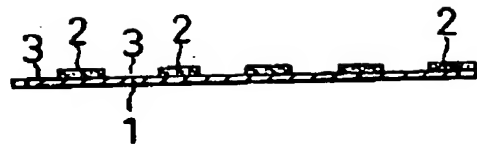
第2図



第3図



第4図



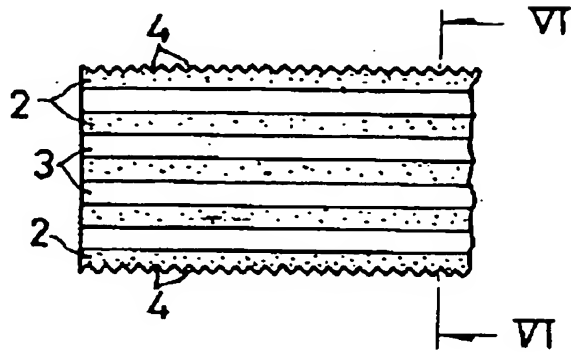
60730 $\frac{1}{2}$

実用新案登録出願人 ニチパン株式会社

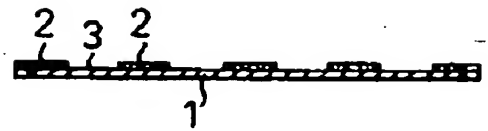
代理人 弁理士 井上 清 子

外 1 名

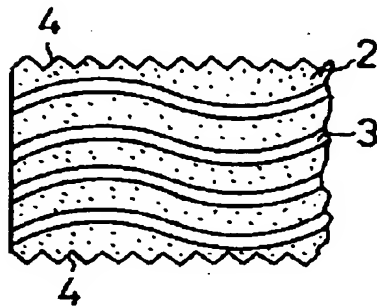
第 5 図



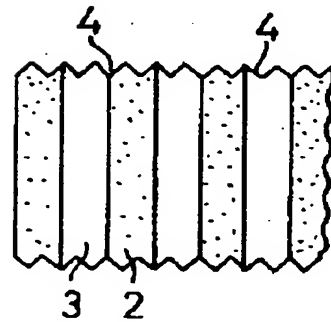
第 6 図



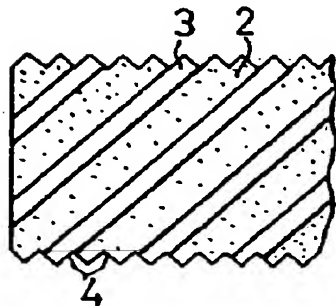
第 7 図



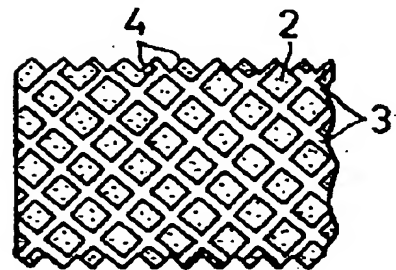
第 8 図



第 9 図



第 10 図



1 60730²/₂

実用新案登録出願人 ニチバン株式会社
代理人 弁理士 井 上 清 子
外 1 名

6. 前記以外の代理人

住所 東京都中央区銀座七丁目14番3号
松慶ビルディング

8154 氏名 辨理士 亀川 義 示

60730